

保護者会でこれまで寄せられた就職についてまとめました。学校の取り組みとしてご理解の一助となれば幸いです。

【全般的なこと】

Q. どのような就職先があるのでしょうか？

幅広い業種・職種・地域に就職しており、学生に合った職場での社会参加を重視しています。職種によっては長期的な計画や下積みが必要な場合もあります。志を保ちながら状況によっては進路変更も必要となるため、職場引率などを通じて現場理解を深める支援を実施しています。自立につながる進路選択を学校がサポートします。

Q. デザイン関連の求人・仕事はどのような状況でしょうか？

商品開発やイベント告知には必ずデザインが関わり、常に一定数の求人が存在します。ただし一般向けの求人には出にくく、表現するための専門知識や技術を持つ人が前提となるためその分野を学んでいる学校へ直接募集されます。本校には毎年約400社の求人があり、その7割がデザイン職なので十分に求人があります。

【就活について】

Q. デザインの分野では就職活動をどのように行うのでしょうか？

重視されるのは資格や検定より制作物や学習内容で、表現や方向性が企業と合うかが評価基準です。本校では担当職員が企業調査や引率を行い、学生と共に活動を進めます。主体的に行動できる学生はそれを尊重しつつ、自己開拓が苦手な学生に対しては企業と綿密に連携した独自の支援体制が特徴です。

Q. 就職活動を開始する時期はいつからでしょうか？

採用開始時期は企業ごとに異なり、早ければ1年次の2月、遅ければ2年次の2月からと大きな差があります。そのような違いから本校では一律に時期を決めず、学生の状況や希望に応じて柔軟に支援しています。大切なのはタイミングによる有利不利ではなく、本人に適した活動です。

Q. 就職活動では何を準備すれば良いのでしょうか？

まずは自分にとって就活とは何なのか、どうなることがゴールなのかを考えることが大切です。次に日々の学習で専門知識を高め社会人に必要な習慣を養うことが大切です。特に話を聴く姿勢は顧客対応に直結します。また授業作品を作品集としてまとめることが採用へつながります。何ができるかの証明は資格や検定では不十分で、むしろ作品や課題で培った表現力が評価の対象となります。本校では1年次から準備を指導しています。

【学校の支援について】

Q. 就職の支援体制はどのようなになっていますか？

チューター制というクラス担任よりももっと細かく個人を担当できる教員と就職専任職員が連携し、技術指導と進路支援の両面から学生をサポートしています。学生の不安解消を重視し、卒業後も相談を受け付ける継続支援を実施。入学から卒業後まで切れ目のない進路サポートができるのが本校の特徴です。

Q. 保護者や家庭との連携はどのようになっていますか？

出席状況など学校での様子を随時メールや電話でお知らせしています。また、オンラインや個別面談を通じて保護者と情報共有を行っています。学校側が家庭での様子を把握することは学生の特徴理解や進路選択の幅を広げる助けとなります。保護者の声を重視し、自立に向けて学校と家庭が連携する体制を整えています。

Q. 就職支援における他校との違いは何でしょうか？

本校は学生個人ごとの特性に応じた支援と卒業後の継続支援、さらに企業ごとの採用基準を把握した対応が特徴です。面接で自分のことを伝えることが特に苦手な学生には同席や引率など企業との連携も強いです。1年次から週単位の進路授業を行い、県外生には現地の企業の求人開拓も行っています。

このほか不安やお困りごとがあれば学校スタッフまでご遠慮なくお知らせください。なお学科や学年もお知らせいただけますとより具体的な解決策をご提示できます。

0120-80-7177（対応時間：平日またはオープンキャンパス開催日9:10-17:00）